たんちょう

JAくしろ丹頂
広報誌
vol.105
2016.6

JAくしろ丹頂

CONTENTS

- 第10回 釧路丹頂農業協同組合通常総会 ―― 1
- 第10回 釧路丹頂農業協同組合通常総会
  武藤清隆組合長挨拶 ―― 2・3
- 第10回 釧路丹頂農業協同組合通常総会 特別決議 ―― 4
- 役員の紹介・職務分担 ―― 5
- 新役員からの抱負 ―― 6・7
- 参事就任のご挨拶 / 退任役員へ花束を贈呈
  平成28年度新規就農者へ激励状を贈呈 ―― 8
- 坂本定義農場の和牛が高等登録審査で高得点獲得
  第38回釧路B&Wショウ ―― 9
- 辞令発令 ―― 10
- 組織機構図 ―― 11・12
- 理事会報告 / 生乳生産実績 ―― 13

第10回 通常総会
（左）志賀忠浩議長（右）折笠文則副議長

第10回 釧路丹頂農業協同組合通常総会

五月十七日(火)、鶴居村総合センターで、第十回釧路丹頂農業協同組合通常総会が開催されました。

ＪＡ綱領を出席者全員で斉唱し、武藤清隆組合長から開会の挨拶がありました。又、御来賓の皆様を代表し、鶴居村長 大石正行様、ＪＡ北海道中央会根釧支所長 平田 靖様から御挨拶を頂きました。

総会の定足数は、正組合員総数３７１名に対し、出席組合員数３１８名（本人出席73名、代理人出席３名、書面議決２４２名）により総会は成立し、議長に音別地区・志賀忠浩氏、副議長に鶴居地区・折笠文則氏が選出され、議事を進行しました。

議案第一号 平成二十七年度（第十年度）事業報告、剰余金処分案の承認についてから議案第十一号迄及び報告事項、特別決議について順次上程され、質疑応答後、議案は全件議決されました。

総会に御出席頂きました御来賓の皆様方、組合員の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、今後も当ＪＡ事業運営に対し、より一層の御協力を賜りたく、宜しく御願い申し上げます。

全日本ホルスタイン共進会名誉賞受賞に伴い㈱敬和ファームを特別表彰

組合員からの質問の様子

第十回 通常総会挨拶

代表理事組合長
武 藤 清 隆

第十回通常総会の開会にあたり、一言御挨拶申上げます。

平成二十七年度は、まさに私達にとりまして、激動の一年でありました。昨年の八月には「農協法等の一部を改正する等の法律」が成立し、中央会の位置付け、監査の有り方、准組合員の事業量規制の方向付け等が示されました。更に、十月には数年来強力に反対をしてきましたTPP交渉が大筋合意に至る等、将来に渡り不安を増幅する一年となりました。また、十月初旬には、爆弾低気圧及び超大型台風の直撃を受け、自然の驚異にさらされた一年でもありました。この復旧に当たり、全共連あるいは各行政の皆様には、昨年に引き続きご支援を頂きました事に改めてお礼申し上げます。

生乳生産に付きましては、全道の第八期生乳安定生産対策に示された前年度実績対比103%を目標に取り組みました。特に生乳生産基盤の維持、拡大が求められている状況下、生乳生産量十万トン復活を達成すべく農協独自対策として

①「草地改良促進助成事業」に千百万円助成
②「搾乳素牛増頭対策事業」による雌雄選別精液活用に七百万円助成
③「生乳生産基盤緊急対策事業」による低利の資金対策に一億七千万円の融資
④「サルモネラ症・マイコプラズマ感染症損害支援事業」による罹患牛見舞として七農場に三百万円支援を致しました。

これらの取り組みを行った結果、組合員の日々の努力とも相俟って生乳生産量は、十万二千トン程となり、三年振りの十万トン超えを達成し、販売事業取扱高は、過去最高の百十三億円余の取扱高となりました。よって、今年度の事業利益は五千七百万円となり、税引後当期剰余金は、一億七百万円を計上し、剰余金処分で所要の準備金・積立金による内部留保の他、特別配当による組合員還元を措置することが出来ました。これもひとえに組合員各位をはじめ、行政・各関係機関並びに系統連合会の御支援と御協力の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。

組合員の活躍としては、第14回全日本ホルスタイン共進会で、㈱敬和ファームの出品牛が名誉賞に輝き、青年部活動では、斉藤和弘さんが全道農協青年部協議会の会長として、更には女性部活動では、フレッシュミズ部会の全道の会長として水本梨佳さんが活躍され

ました。共に二十七年度の総会をもって任期を全うし勇退されましたが、この間組織の声は勿論の事、組合員の声を釧路丹頂農協の名を、全道・全国に届けて頂きました。三名の皆さんには心より敬意と感謝を申し上げます。

釧路丹頂農協も平成十八年六月に合併以来、十年という節目の年を迎える事が出来ました。この事は幾多の困難を乗り越え、将来を見据え決断された多くの先輩組合員、行政・関係機関の皆様方からの御支援、御協力の賜物であり、改めて感謝と御礼を申し上げます。私達は、これらの想いを決して無にする事無く、更なる発展を目指して平成二十八年度をそのスタートの節目の一年にしたいと考えています。

平成二十七年度に限って言えば、酪農業界にも明るい兆しが見えて来た様な状況下にありますが、しかし足元を見た時にはまだまだ盤石とは言えません。今後のＴＰＰの行方、農協改革の方向性、更にここへ来て指定団体制度の在り方等規制改革会議から矢継早に出される提言の行方によっては、まさに〝砂上の楼閣〟でしかありません。今後どんな大波が来ようとも耐えられる基盤強化を早急に構築する必要があります。具体的には、昨年同様の基盤強化対策に加えて、更に生産コスト低減に向け、昨年立ち上げた「植生改善プロジェクト」を農業公社・普及センター各行政の御協力を頂きながら具体的な取り組みを図って参ります。更には、消費者ニーズに応えられる生乳生産を目指し、新たに「乳質改善プロジェクト」を立ち上げ、具体的な取り組みをしたいと考えています。併せて三月に日本獣医生命科学大学との連携協定に調印しましたが、これらを最大限に生かしつつ、担い手対策にも取り組みます。また、十周年記念事業にも取り組みたいと考えています。どうかこれら取組みに対しまして、組合員の皆様の絶大なる御理解御協力を宜しくお願い致します。

私達は常に組合員・地域の皆さんにとって「あたたかさ」「やさしさ」を感じられる農協運営を心掛けて参ります。その事が昨年、ＪＡ北海道大会で決議された、北海道５５０万人と共に創る「力強い農業」「豊かな魅力ある農村」の実現につながるものと確信しております。

二十八年度も、ＪＡ第二次「地域農業振興計画」「ＪＡ中期経営計画」の実践第三年度として、役職員一同「組合員目線」での姿勢を忘れる事無く、積極的な取り組みを図って参ります。

本日の御参集に心から感謝と御礼を申し上げます。

特別決議①

ＴＰＰから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る決議

提案説明者
ＪＡ女性部部長
吉田 鈴子 さん

１．政府・国会議員に対しては、ＴＰＰ合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性についての説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業を確立するよう強く求めていく。

２．北海道550万人とともに、我が国の食料安全保障や食の安全・安心の必要性、農業・農村の果たす機能などに関する農業理解促進活動を展開し、国産農畜産物に対する支持と信頼を高めていく。

この特別決議は、満場一致で決議されました。

特別決議②

指定団体制度の機能を維持する決議

提案説明者
ＪＡ青年部部長
石黒 隆行 さん

１．指定団体制度による生乳の一元集荷・多元販売は、乳業者との価格交渉力を強化するとともに、合理的な輸送体制の構築により輸送経費の削減等につながり、需要者・消費者にとって最も安定的で合理性のある販売手法であることから、指定団体制度の機能を維持すること。

２．生乳は毎日生産される一方、腐敗しやすく貯蔵性がないという特性から、日々の需給変動に応じ、迅速かつ安定的に需要者・消費者に対し、牛乳・乳製品を供給していくためには、全道、全国での広域における一体的な需給調整が必要不可欠であることから、この機能を果たす指定団体制度の機能を維持すること。

３．酪農生産基盤の強化と生乳生産拡大の実現のためには、地域コミュニティの維持と併せて酪農経営の安定が必要であることから、地理的条件の影響を緩和し、全国酪農家の共存共栄を可能とする指定団体制度の機能を維持すること。

この特別決議は、満場一致で決議されました。

役 員 の 紹 介

上段：五十嵐政敏、藤澤　常行、千葉　喜好、大坂　博文、寺下　信夫、冨坂　三春
下段：松下　　勉、田井　博行、武藤　清隆、瀧澤　義一、對木　範誉、白木　良雄、澁谷　　博

役員の職務分担

（就任日：平成28年5月17日）

1．執行体制

会長理事	瀧澤義一
代表理事組合長	武藤清隆
代表理事専務	對木範誉
常務理事（信用担当）	白木良雄
理事	松下　勉、大坂博文、田井博行 藤澤常行、千葉喜好、五十嵐政敏
代表監事	澁谷　博
監事	冨坂三春、寺下信夫（員外）

2．専門委員会

管理金融共済	委員長　松下　勉	委員　千葉喜好	委員　藤澤常行
	委員　五十嵐政敏	委員　田井博行	委員　對木範誉
	委員　白木良雄		
営農経済	委員長　大坂博文	委員　千葉喜好	委員　藤澤常行
	委員　五十嵐政敏	委員　田井博行	委員　對木範誉
	委員　白木良雄		
融資協議会	委員長　田井博行	委員　松下　勉	委員　藤澤常行
	委員　大坂博文	委員　對木範誉	委員　白木良雄

3．関係団体委員・役員

農協推薦農業委員（3名）	（鶴居村）武藤清隆　（白糠町）對木範誉 （釧路市）大坂博文
釧路地区酪農対策協議会委員（5名）	武藤清隆、對木範誉、松下　勉 大坂博文、折笠文則（酪農振興会会長）
北海道酪農協会釧路支部委員（2名）	對木範誉、五十嵐政敏
株式会社 ジェイエーコムズ役員（取締役5名）（監査役2名）	（代表取締役）藤澤常行　（常務取締役）岩田一哉
	（取締役）松下　勉、千葉喜好、松葟恭二
	（監査役）澁谷　博、冨坂三春
一般社団法人 釧路市音別町農業振興公社役員（理事2名）（監事1名）	（理事）田井博行、白木良雄
	（監事）大坂博文
よつ葉乳業株式会社根釧工場運営協力会委員（6名）	武藤清隆、對木範誉、千葉喜好 藤澤常行、五十嵐政敏、大坂博文
釧路西部ＪＡ生乳共同検査運営協議会構成委員	武藤清隆、大坂博文、松葟恭二
釧路農協連運営委員、釧路畜産農協財産管理委員	五十嵐政敏
釧路畜産農協正組合員	瀧澤義一、武藤清隆、對木範誉

新役員就任にあたっての抱負

瀧澤 会長

釧路丹頂農協理事として４期目を迎えた。

４農協合併以来10年を経過したが､農業農協を取り巻く環境は大きく変化している。ホクレン副会長としても６年目になり、指定団体制度の抜本的改革を突き付けられている現状であるが、その他にも課題は山積しており、どうすれば「組合員所得の向上･安定」に資するのかを最優先として取り組んでいく決意であります。

武藤 組合長

過日開催の臨時理事会におきまして、代表理事組合長の選任を頂きました。その重責に身の引き締まる思いです。１期目は無我夢中の３年間でした。２期目の３年間は地に足を付け、しっかりと組合員の負託に応えられる様に、全力で組合員目線での事業運営に取り組みます。

對木 専務

５月の通常総会後の臨時理事会において、引き続き代表理事専務を受け賜わる事となりました。

昨今の農業情勢は、不安要素が山積しております。そんな中、微力ではありますが今一度ＪＡの基本理念を再認識し、役職員一丸となり計画達成のため組合員の皆様と共に取り組んで参ります。

白木 常務

私こと この度､５月17日をもちまして職員を退職し､常務理事に選任いただきました。

昭和53年に旧幌呂農業協同組合に奉職以来、合併を経て38年間にわたりＪＡ職員として勤務させていただきました。この間、組合員の皆様をはじめ役職員、関係機関並びに地域の皆様からご指導とご支援を賜り、心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

５月17日からは、当ＪＡ常務理事として、組合長、専務を補佐するとともに、信用担当理事としてその職務を果すべく決意を新たにしているところでありますが、一方その責任の重さを痛感しているところでもございます。

農業・ＪＡはさまざまな課題をかかえておりますが、私の今の思いを２点述べさせていただくと、一つは組合員の農業所得をどの様にしたら増大させることができるのか、もう一つはＪＡグループが果たしている役割とその必要性を組合員はもとより准組合員、地域の皆様にいかにして伝え、理解を深めてもらえるかを考えて行かなければならないと思っております。

今後とも組合員の皆様が主人公であるＪＡ運動に取り組んで参りたいと考えておりますので、特段のご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げ退職と就任のご挨拶とさせていただきます。

松下 理事

この度、推薦を頂き身の引き締まる思いです。さて最近の私達の産業においては、少子高齢化による担い手、労働力不足・ＴＰＰ・指定生乳生産者団体等々の問題山積でありますが、組合員の営農と生活を守り地域振興に微力ながら努めて参りますので皆様方のご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

大坂 理事

個人経営の支援対策の必要性、営農支援組織なくして生産の規模拡大などの実現は困難であり、同様に栄養価の高い粗飼料の確保、そして乳検データを活用した各関係機関と連携した営農指導が重要。

田井 理事

ＪＡ北海道大会メインテーマの中で、力強い農業と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けてと唱っています。又、ＴＰＰの来るであろうこの波に立ち向かう為にも、酪農先進地を知ることが急務と考えます。その事から希望する農場から各１名、ニュージーランド・オーストラリアの酪農研修視察に農協も旅費の負担を考えながら、役員又職員も同行して任期３年間の中で実施する。

藤澤 理事

ＪＡの経営も国の低金利政策により、１番の好成績部門の金融共済部が今後から前年比割れとなる事が予想されます。ただ、乳価及び個体販売の値上がりにより組合員皆様の組勘が順調に推移している事は喜ばしい事で、今後も続く事を願うものです。

さて、私事ですが幌呂地区集落及び、多面的機能、鶴居村畜産クラスター事業の役員並びに、この程前任者退任によりジェイエーコムズの代表取締役となり、責任の重大さを痛感している所でございますが、今後組合員皆様のご協力が欠かせません。ＪＡ共々宜しくお願いします。

千葉 理事

酪農経営40年の経験や失敗から若い世代の酪農経営・生活の向上のため、農協役員の立場から伝えられる事があると考えます。

此の度、このような機会を与えて頂いた事に感謝し、残り少ない酪農人生を大切に頑張ってみたいと思っています。

五十嵐 理事

組織運営を担える様勉強し、地域の生産能力を上げる為にＴＭＲセンター等を活用し、小規模経営から法人まで、酪農家が減らない環境を整備したい。若い酪農家が意欲をもって営農出来、又新規就農者が定着する地域整備を目指したい。

澁谷 代表監事

合併後10年の節目の年を迎え、更なる発展と飛躍を共に願う１人として、私自身もより一層の努力と精進を重ね監事の職責を遂行していく所存です。今後も宜しく御指導賜ります様、心よりお願い申し上げます。

冨坂 監事

昨年に続き、乳質と繁殖に注視していきたいと思います。販売品の質を高める事は生産者の責務であり自信になります。

乳質を誇れる農協になりたいですね。

寺下 員外監事

員外監事という大役を仰せつかるにはまことに微力ではございますが、各組合員及び職員の皆様のご指導ご協力を頂き、釧路丹頂農業協同組合の更なる発展のために職責を果たしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

参事就任のご挨拶

参事
松（まつ）臺（だい）恭（やす）二（じ）

平成二十八年五月十七日開催の五月臨時理事会において承認され、参事を務めさせていただくことになりました。何分にも浅学非才ではありますがよろしくお願い申し上げます。

酪農家の次男坊として育った私ではありますが、幼少のころから身近に農協の存在がありました。いま、農協を考えたときに地域農業の振興と地域経済の維持には組合員の結集が重要で、生産基盤の維持拡大を通じて農協と組合員との絆をより強固なものにしていきたいと考えます。そのためには、職員能力の開発と意識の向上を図る必要があり、役職員が一体となって取り組まなければなりません。TPP交渉、また規制改革会議の問題など課題は山積しておりますが、生産者組合員をはじめとする関係機関の皆様の、今後とも特段のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

退任役員へ花束を贈呈!!

通常総会終了後、改選により役員を退任されました四名の方々に、JA事業運営に対し、長きにわたりご尽力頂きました感謝の意を表し、花束を贈呈致しました。

大変御苦労様でした。

- 前常務理事（信用担当）　梶原英光氏
- 前理事　髙橋達雄氏
- 前理事　成田純哉氏
- 前代表監事　村上泰夫氏

平成28年度 新規就農者へ激励状を贈呈!!

左から、太田陽向さん、細谷亮太さん、中河晴基さん、北村正樹さん（右上）

五月二十六日、本所で平成二十八年度新規就農者（後継者）に対し激励状を贈呈しました。

新規就農者への激励状贈呈事業（JAグループ北海道推進）の一環で、就農者が英知と努力をもって農業に意欲的に取り組むことを期待し実施しております。

今回、中河晴基さん（白糠）、細谷亮太さん（白糠）、太田陽向さん（白糠）、北村正樹さん（白糠）の四名に武藤組合長から激励状が贈られました。今後のご活躍をご期待致しております。

坂本定義農場（幌呂）の和牛が高等登録審査で高得点を獲得!!

～3代高等登録を目指して!!～

4月10～11日に和牛の高等登録審査が行なわれ、一般に審査得点が83点以上で高得点となりますが、坂本定義農場（幌呂）の審査牛が87点という高得点を獲得しました。

坂本さんは「和牛生産については6年程前から取り組み始めましたが、この和牛、名号「いちご」は受精卵牛で、今後も3代高等登録を目指して頑張っていきたい。」と意気込みを聞かせて頂きました。

名号　いちご
（父：百合茂×母の父：安福165の9×母の祖父：平茂勝）

第38回 釧路B&Wショウ開催

五月十四日、釧路市大楽毛・釧路農協連共進会場で第三十八回釧路B&Wショウが開催されました。

管内六JAから、計六十八頭の出品牛が集まり、審査員に天野洋一氏（更別村 酪農家）が審査にあたり、デーリィプリンセスは、三浦まゆみさん（釧路農業協同組合連合会）が務めました。

審査の結果、グランドチャンピオンに弟子屈町の㈱メドーブリッジホルスタインズの出品牛メドーブリッジ ロース シャトル（5歳以上）が選出され、また各部で当JAの出品牛は優秀な成績を収められました。

主な入賞牛及び出品者は表のとおりです。

入　賞　牛　一　覧

インターミディエイトチャンピオン		
TKS カズナリー テイー ET	清水武志	鶴居
リザーブジュニアチャンピオン		
TMF アット ライブリー ハイ エピソード ET	安藤功	鶴居

部	順位	名号	出品者	地区
1部	7	BS ハツピー コルト RED	㈱大坂ファーム	西部
	8	ウツズスター エンペラー カミング レオ	林　稔幸	西部
2部	1	TMF アット ライブリー ハイ エピソード ET	安藤功	鶴居
	6	SP ルイスデール チヤリー アベイル ET	㈱高橋農場	鶴居
	10	VSツリー フアイナル アットウツド	對木賢雅	西部
	11	ヘイチヤン スターブライト スーパー B チヨツパー ET	㈲伊深ファーム	西部
3部	4	OP シーダーローン ブラゼル アンコ	植田紘史	鶴居
	6	A マチムラ アールチエ アット メメ	安藤功	鶴居
	7	パインヘイブン マタドーア スパクリン ルシフアー	松井俊治	鶴居
	8	ヘイチヤン レーモンデール マツカチエン	㈲伊深ファーム	西部
	9	アルテイ アツハー ボク スパークリング	㈱清和農場	鶴居
	10	IF アトーニー ダビ	増田一真	鶴居
	11	MS スパークル スタークラー	松下雅幸	鶴居
4部	1	OP エムビービー ラブリー カウ	植田紘史	鶴居
5部	1	TKS ローマン スパーク アンナ	清水武志	鶴居
7部	2	ウツズスター ブロー ジユデイー タラ ET	リードマン 林 瑠輝	西部
8部	3	ウツズスター マセスドラ グツド タイム	林　稔幸	西部
	4	TKS ミノル マツクス アンコール	清水武志	鶴居
	5	ヘンドリカ シエリル ノーム	㈱清和農場	鶴居
10部	1	TKS カズナリー テイー ET	清水武志	鶴居
	3	サイテーシヨン プロント スパーク	㈱清和農場	鶴居
	4	ウツズスター コロナ ホワイトストーン ローズ	林　稔幸	西部
	6	フオグランド ベージエアー マリネツト	五十嵐大地	西部
11部	2	スプリング セブテン ラバンガード	㈱清和農場	鶴居
	3	OP オラホーム Gオア アリス	植田紘史	鶴居
	4	アドミラル スパークリング エース	松田浩二	西部
12部	2	エメラルド ローリン フイーバー エスト フタゴ	松田浩二	西部
	6	BS ベブ メルドーブ シヨトル	㈱大坂ファーム	西部
13部	2	ウツズスター エンペラー ニユーイヤー レオ	林　稔幸	西部

辞　令　発　令　（平成28年6月1日付）

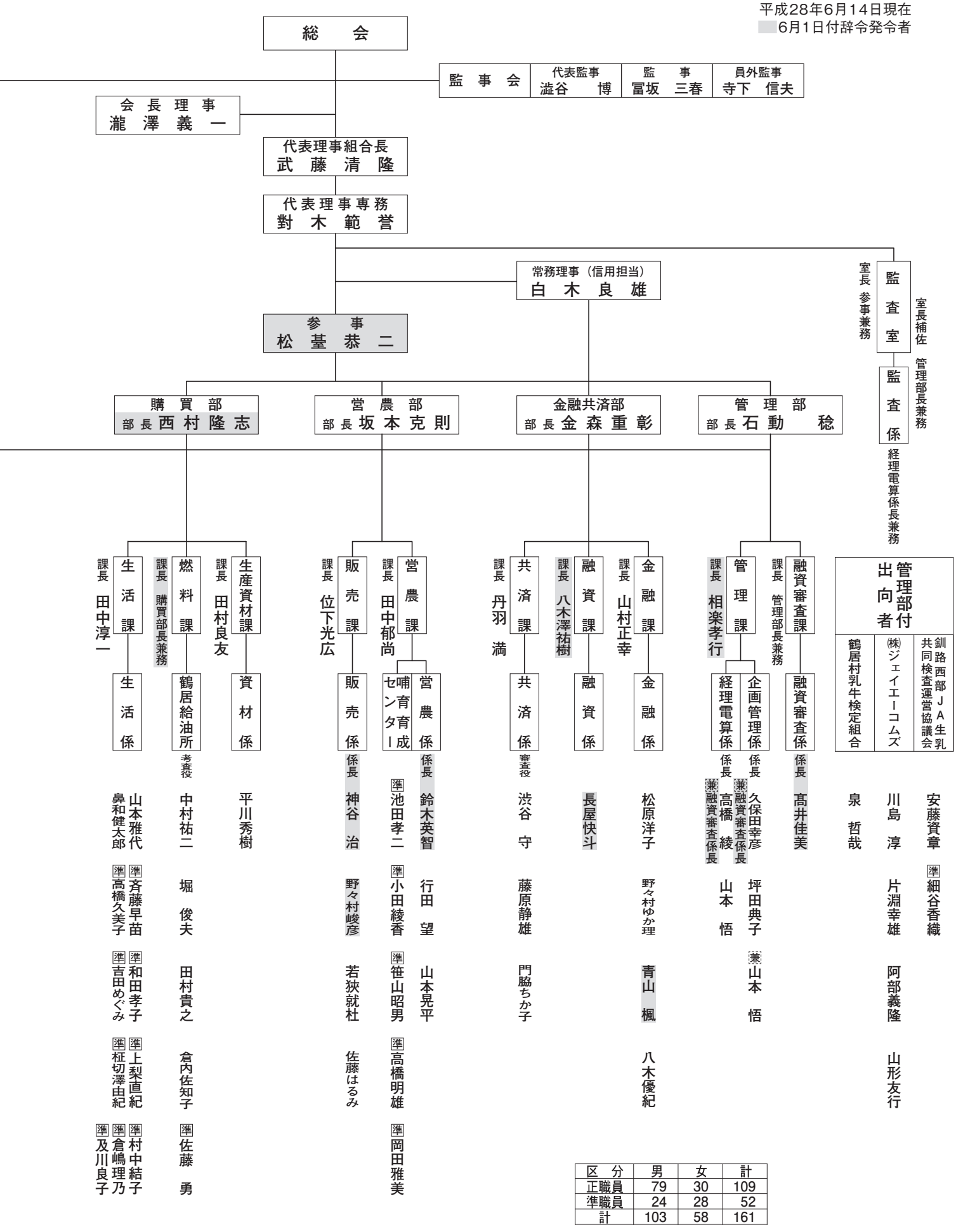
氏　　名	新　　所　　属	旧　　所　　属
松　塞　恭　二	参事兼監査室室長	購　買　部　部長兼燃料課長
西　村　隆　志	購　買　部　購買部長兼燃料課長	金融共済部　融資課長
相　楽　孝　行	管　理　部　管理課長	管　理　部　管理課長兼融資審査課融資審査係長
髙　井　佳　美	管　理　部　融資審査課融資審査係長兼管理課企画管理係兼経理電算係	金融共済部　融資課融資係長
八木澤　祐　樹	金融共済部　融資課長	営　農　部　販売課販売係長
神　谷　　治	営　農　部　販売課販売係長	営　農　部　販売課販売係
鈴　木　英　智	営　農　部　営農課営農係長	幌呂支所　営農課営農係長
野々村　峻　彦	営　農　部　販売課販売係	音別支所　営農課営農係
長　屋　快　斗	金融共済部　融資課融資係	管　理　部　管理課経理電算係
青　山　　楓	金融共済部　金融課金融係	音別支所　金融共済課金融共済係
安　藤　隆　幸	幌呂支所　支所長兼牧場課長	幌呂支所　営農課長
増　川　純　仁	幌呂支所　営農課長	営　農　部　営農課営農係長
鈴　木　郁　也	幌呂支所　営農課営農係長	白糠支所　営農課営農係長
福　士　哲　也	白糠支所　支所長	音別支所　支所長
橘　田　壮　則	白糠支所　購買課資材係長	白糠支所　購買課資材係
松　原　清　美	白糠支所　家畜改良課家畜改良係長	幌呂支所　家畜改良課家畜改良係
高　野　明　徳	白糠支所　営農課営農係長	白糠支所　営農課営農係
辻　野　忠　志	白糠支所　営農課営農係　正職員	白糠支所　購買課白糠給油所係　準職員
石　渡　正　志	音別支所　支所長	幌呂支所　支所長兼牧場課長
高　瀬　隆　生	音別支所　乳牛検定事業担当事務局長（兼音別･白糠ヘルパー及び白糠乳検担当）	白糠支所　支所長
春　日　　守	音別支所　営農課長	音別支所　営農課長兼乳牛検定事業担当事務局長
山　本　彩　夏	音別支所　金融共済課金融共済係	金融共済部　金融課金融係
山　本　将　平	音別支所　営農課営農係	白糠支所　購買課資材係
坂　下　早　苗	音別支所　営農課営農係兼乳牛検定事業担当　正職員	音別支所　営農業務　準職員

（平成28年6月14日付）

氏　　名	新　　所　　属	旧　　所　　属
春　日　　守	音別支所　営農課長兼乳牛検定事業担当事務局長	音別支所　営農課長

大変お世話になりました。	高　瀬　隆　生
	音別支所　乳牛検定事業担当事務局長　6月14日をもって退職しました。

平成28年6月14日現在
6月1日付辞令発令者



区　分	男	女	計
正職員	79	30	109
準職員	24	28	52
計	103	58	161

ＪＡくしろ丹頂組織機構図

瀧澤　義一	武藤　清隆	對木　範誉	松下　　勉	大坂　博文	学識経験理事	理事会
田井　博行	藤澤　常行	千葉　喜好	五十嵐政敏		白木　良雄	

管理金融共済委員会
委員長　松　下　　勉

営農経済委員会
委員長　大　坂　博　文

融資協議会
委員長　田　井　博　行

子会社	社員
㈱ジェイエーコムズ	㈳釧路市音別町農業振興公社

音別支所　支所長　石渡正志

- 燃料課　課長　白糠購買課長兼務
  - 音別給油所：係長 菊地　仁、準 伊藤敏弘、準 庄司姫美衣、準 工藤利志昭、準 田口保男
- 購買課　課長　林　稔和
  - 生活係
  - 資材係：係長 若狭幸男
  - 佐藤智恵（兼資材係長）、金井大和、準 伏見説子、準 目黒豊子、準 平間富恵、準 三浦優子、準 野々村智惠子、準 北島弓子、準 佐藤敏美、準 木原武春
- 音別地区乳牛検定運営委員会：事務局長 営農課長兼務、準 小池誠二、準 宮本芳枝
- 営農課　課長　春日　守
  - 営農係：係長 松崎勇人、山本将平（ヘルパー出向）、坂下早苗、準 樋口淳也、準 酒井久仁、準 佐藤　崇、準 武田千代士、準 轡田才人
- 金融共済課　課長　長谷川隆
  - 金融共済係：係長 矢部哲也、手塚　恵、山本彩夏、共 今野佳奈
  - 総務係：兼 手塚　恵

白糠支所　支所長　福士哲也

- 購買課　課長　大石雅明
  - 白糠給油所：考査役 菊地雄次、高橋　卓、準 寺澤順子、準 繁田聖美
  - 資材係：係長 池田雅利、係長 橘田壮則、準 石動孝子、準 坂本文子
- 家畜改良課　課長　海田　治
  - 家畜改良係：係長 松原清美、松井宏篤、森田直樹、佃　政紀、兼 佐藤千鶴、準 小原直志
- 販売課　課長　本所課長兼務
  - 販売係：係長 高橋伸幸、長屋英俊、西川　健、準 才田法子
- 営農課　課長　手塚裕明
  - 営農係：係長 髙野明徳、審査役 阿部正志、辻野忠志、佐藤千鶴（ヘルパー出向）、準 丸子啓三、準 岡本和仁
- 金融共済課　課長　高田栄子
  - 金融共済係：係長 池田直哉、共 村上千春、松本典子、金森彰美、北村千春、眞鍋隆宏
  - 総務係：兼 松本典子

幌呂支所　支所長　安藤隆幸

- 購買課　課長　泉　力男
  - 幌呂給油所：準 井上勝美、準 白木京子
  - 生活係：準 鈴木幸一、準 阿部美知子、準 熊谷郁子、準 増井望美
  - 資材係：小野寺淳子
- 牧場課　課長　支所長兼務
  - 幌呂育成牧場：調査役 村上　弥、上野三郎、浜名意也、準 小泉　聡、準 田中正則、準 南　一成
- 家畜改良課　課長　吉田　剛
  - 家畜改良係：係長 菅田喜之、佐々木直敬、行田祐市、南條正貴、千葉隼人、井上　望、大野夏織、兼 北川和美
- 営農課　課長　増川純仁
  - 営農係：係長 鈴木郁也、北川和美
- 金融共済課　課長　石井公道
  - 金融共済係：係長 野々村典亮、矢口昌美、鈴木久美子、不藤佑希菜
  - 総務係：兼 鈴木久美子

たんちょう VOL.105 平成28年6月発行
■編集発行 釧路丹頂農業協同組合管理部管理課

理　事　会　報　告

５月臨時理事会　平成28年5月17日（火）

付議事項

議案第１号　代表理事の選任について
議案第２号　会長、組合長及び専務の選任について
議案第３号　参事の解任並びに常務・信用担当理事の選任について
議案第４号　専門委員会並びに関係団体等の委員・役員の選任について
議案第５号　退任理事に対する退職慰労金の支給について
議案第６号　理事の報酬の配分について
議案第７号　常勤理事の事務引継に係る立会人について
議案第８号　参事の選任について

※以上選任および承認されました。

５月定例理事会　平成28年5月26日（木）

報告事項

1．専決事項及び諸会議について
2．各委員会・諸会議等について
3．４月末財務状況について
4．事業の実施処理状況について
5．集荷乳（合乳）への抗生物質混入事故防止対策事業要領制定について
6．決算状況について（一般社団法人　釧路市音別町農業振興公社）

付議事項

議案第１号　定款第53条第２項に規定する理事の順位について
議案第２号　行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書について
議案第３号　組合業務及び財産（連結含む）の状況に関する情報開示について
議案第４号　融資の承認について
議案第５号　固定資産の取得について
議案第６号　監事監査の結果に対する回答について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1．春季地区別懇談会および第10回通常総会における意見・要望について
2．「持続可能な北海道農業の確立に向けた組織討議（作目共通対策）」原案に係るＪＡ意見の集約について
3．平成28年熊本地震にかかるＪＡグループ支援募金活動への取り組みについて
4．次期参議院議員（比例代表）候補者の団体推薦について
5．当面の業務日程について

■平成28年度	生乳生産実績（5月）			
	月計乳量（kg）	5月前年比(%)	累計乳量（kg）	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,979,652.8	103.1	17,555,352.2	103.3
（鶴居地区）	3,053,432.3	101.9	5,930,341.9	101.7
（幌呂地区）	2,357,170.4	104.1	4,648,855.1	104.7
（白糠地区）	1,876,048.9	101.5	3,664,118.0	101.9
（音別地区）	1,693,001.2	105.9	3,312,037.2	106.2
管内計	47,707,047.4	104.8	92,627,266.1	105.0
（前年度管内計）	45,506,788.5		88,180,579.5	

編集後記 EDITOR'S NOTE

□これから夏を迎えるにあたり、大型機械や車を使っての農作業、圃場での作業などが非常に多い時期となります。４月に実施した農作業安全祈願祭時に皆で誓った「交通安全と農作業事故絶滅」を心掛け、悲惨な事故をなくしましょう。

■印刷　白糠印刷㈱